

IME [ai e mii:] 中小企業の生き残り作戦！

ONLY ONE QUALITY 未来職人 こだわりの仕事

**製造業の成長戦略**

「新フレキシブル生産」  
「新製品開発システム」  
「新産業革命生産方式」  
「知的資本経営」

2013年  
「4+4の経営革新」

株式会社 IMEコンサルティング  
代表取締役 立居場誠治

### 定期経営セミナー開催要領

- 場所 大田区産業プラザ(Pio) 蒲田
- 日時 3月22日(金) F 会議室  
4月26日(金) F 会議室  
5月24日(金) G 会議室
- 18:30から1.5~2時間程度
- テーマ - 企業経営関連のテーマを時期と希望により選定する

### 今後の経済状況

- 世界経済
  - 中国など引き続き、ある程度の成長が見込める新興国がある
  - 欧州、日本、米国などの先進国は高成長を見込めず、少ないパイを奪い合う構図
- 保護主義
  - 自由化・グローバル化の限界
  - 新興国の安い労働力との競争に晒される人々の不満の高まり
  - 米国、英国、EU等で関税強化など自国経済を優先する政策
  - TPP協議は、各国の自国への利益誘導が前提
- 安倍晋三首相、経済再生への「3本の矢」
  - 「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の3つを組み合わせる経済再生プラン
  - 株高・円安が続く市場関係者から、今のところ喝采

© s.tateiba 2013 Tokyo JP

### 需要・生産形態の変化

- 新興国需要
  - 基本機能・廉価品重視で、大量生産・大量消費
- 先進国需要の変化
  - 個別機能とデザイン重視
  - 個別消費 ~ 個別販売 ~ 個別生産
- 国内製造業の生産
  - 廉価・大量生産品は 最適生産地化=新興国生産
  - 大量生産 → 中量生産 → 小量・微量
  - 少品種 → 多品種 → 個別品種

© s.tateiba 2013 Tokyo JP

### 中小製造業の今後

- 生産性の低下
  - 製品単価の下落
  - 海外生産化による受注量の低下
  - 多品種小ロット化の進行
- 倒産リスク
  - 倒産件数押し上げにつながる3つの要因
    - ①中小企業金融円滑化法の終了(3月)
    - ②大手電機ショックの再燃(5月)
    - ③消費税増税前の駆け込み需要の増加(9月)
  - 業績悪化が続き、資金繰り的にも限界に達しつつある中小零細企業の経営を直撃するおそれがある。

**短期\*長期：早く手を打つべし！**

© s.tateiba 2013 Tokyo JP

### 成長戦略・・・企業の成長

- 企業の成長
  - 売上高の増加
  - 自己資本の増加
  - 総資産の増加
    - ・ 財務資産の増加
    - ・ 知的資産の増加
  - 従業員の増加

利益or利益率の増加  
前提条件

© s.tateiba 2013 Tokyo JP

### 需要と技術特性のポジショニング分析

© s.tateiba 2013 Tokyo JP

### 「外部環境の変化」

経済の新興国シフト  
国内産業の空洞化  
欧州危機  
中国バブル崩壊  
国内不況

### 「ピラミッド型ビジネスモデル崩壊」

セットメーカー  
受発注のルート形態の変化  
部品メーカー

### ビジョン経営目標

国内需要  
企業連携

生産性低下 → 変動対応 → 少量対応

小ロット化 短納期化 技術技能低下 不況の生産方式

企業連携 → 大ロット維持 コンカレント短納期対応 小ロット時の編成効率向上 新生産方式微小ロット対応

下請依存体質 → 自立攻勢 → 自社受注

受託生産 部品製造 自社開発、設計 オリジナル製品

管理対象の増加

財務資本 → 知的資本  
金銭資本 → 組織資本  
物的資本 → 人的資本 関係資本

「知的資産経営と組織能力向上」  
関係資本による企業連携管理  
人材育成 技術・技能伝承  
ナレッジマネジメント 組織管理  
新製品・サービス開発 特許

© s.tateiba 2013 Tokyo JP